



1. 製品および会社情報

会社名：有限会社 パシフィック化学
 住所：〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-48-2
 電話：03-3986-1578 FAX：03-3971-2613
 作成/改正：2008年2月27日/2016年9月30日

製品名 Tension Checker TC-B-30～56 (フィルムぬれ張力チェックペン)
 物質の特定 混合物 (混合液は JIS 規格に基づき調整)

2. 危険有害性の要約

—内容液単品成分記載—

GHS 分類： 引火性液体：区分3
 皮膚腐食性/刺激性：区分3
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：区分2B
 急性毒性：経口：区分5/経皮：区分5/吸入：区分4
 生殖毒性：区分1B
 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)：区分1(中枢神経系、腎臓、肝臓、精巣)
 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)：区分1(精巣、造血系)

GHS ラベル要素：  注意喚起語：危険

危険有害性情報：引火性の高い液体及び蒸気/軽度の皮膚刺激/眼刺激/飲み込むと有害のおそれ/皮膚に接触すると有害のおそれ/吸入すると有害/生殖能または胎児への悪影響のおそれ/臓器(中枢神経系、腎臓、肝臓、精巣)の障害/長期又は反復暴露による臓器(精巣、造血系)の障害

注意書き： 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。/容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。/取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じ防毒マスク又は送気マスク、保護手袋等を着用してください。/取扱い後は、手洗いを十分行ってください。/一定の場所を定めて貯蔵してください。
 上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

—混合物— (混合液は JIS 規格に基づき調整)

化学名	CAS No.	含有量
ホルムアミド	75-12-7	30 ㏈イン：0.0v/v%～56 ㏈イン：99.99v/v%
2-エトキシエタノール	110-80-5	30 ㏈イン：100v/v%～56 ㏈イン：0.01v/v%
(別名：エチレングリコールモノエチルエーテル、セロソルブ、ヒドロキシエチルエーテル)		100v/v%～56 ㏈イン：0.01v/v%
(ダイン数によりホルムアミド、2-エトキシエタノールの含有量が変化)		
樹脂・染料		<0.1%

4. 応急措置

—製品—

目に入った場合： 直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。
 皮膚に付いた場合： 石鹸を使って大量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
 大量に吸収した場合： (少量の容器なので、大量に吸収することは、ほとんどない)
 直ちに被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静に努める。その後医師の手当てを受ける。
 誤飲した場合： (少量の容器なので、誤飲することは、ほとんどない)
 無理に吐かせてはならない。直ちに医師の手当てを受ける。

応急処置をする者の保護：救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

—製品—

消化剤： 水(噴霧)、粉末、二酸化炭素、泡(アルコール泡)、乾燥砂
 火災時の特有危険有害性：加熱により本品の有害な蒸気が発生するので、防毒マスク、空気呼吸器を用いて蒸気を吸入しないように注意する。

- 消火方法 : 火元の燃焼元を断ち、消火剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置 —製品—

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 : 作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。
- 環境に対する注意事項 : 濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。
- 回収、中和 : 火気厳禁とし、漏出した液はウェス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、その後を多量の水を用いて洗い流す。

7. 取り扱い及び保管上の注意 —製品—

- 取り扱い : 技術的対策 : 火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触を避ける
- 注意事項 : 使用後は容器を密閉する。漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
- 安全取扱い注意事項 : 皮膚、粘膜・着衣に触れたり目に入らないよう適切な保護具を着用する。作業場は、換気を十分に行なう。
- 保管 : 適切な保管条件 : 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は全て接地する。/容器は直射日光を避け、なるべく涼しい場所に貯蔵し密閉して、空気との接触を避ける。
- 技術的対策 : 換気の良い場所で容器を密閉して保管する。
- 接触禁止物質 : 強酸化性物質、火源の近くに保管しない。
- 安全な容器包装材料 : ガラス

8. ばく露防止および保護措置 —製品—

- 設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。/取扱い場所には近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭にする。
- 管理濃度 作業環境評価基準 : ホルムアルデヒド 非設定 2-エトキシエタノール 5 ppm
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 ホルムアルデヒド 非設定 2-エトキシエタノール 5 ppm, 19 mg/m³
ACGIH TLV(s) ホルムアルデヒド TWA 10 ppm 2-エトキシエタノール TWA 5 ppm
- 保護具 : 有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋、保護衣、保護長靴等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質 —製品—

外観	: 赤紫液体	臭気	: エーテル臭
沸点	: 2-エトキシエタノール 135 °C	融点	: 現在知見なし
引火点	: 60 °C	発火点	: 235 °C
爆発範囲	: 2.6~15.7 vol%		
蒸気圧	: 2-エトキシエタノール 3.8 mm Hg (20°C)	pH	: 現在知見なし
蒸気密度	: 2-エトキシエタノール 3.1	密度	: 約 1.047 g/ml
溶解性	: 水、アルコール、アセトンその他殆どの有機溶剤と混和 n-オクタノール/水分分配数 log Po/w: -0.540		

10. 安定性及び反応性 —製品—

- 安定性 : 安定。強酸化剤と反応して火災や爆発の危険がある。
- 危険有害反応可能性 : 現在知見なし
- 避けるべき条件 : 日光、熱、裸火、高い温度、スパーク、静電気、その他の発火源
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

- 急性毒性 :
- | | | |
|-------------|----------|--------------------|
| ホルムアルデヒド | 経口—マウス | LD50:3150 mg/kg |
| | 腹腔—モルモット | LD50:1250 mg/kg |
| 2-エトキシエタノール | 吸入—マウス | LC50:1820 ppm/7 時間 |

- 局所効果： 2-エトキシエタノール 皮膚—ウサギ 500 mg 開放系軽度
眼—ウサギ 50mg 軽度
- 全身毒性/単回暴露： 意識喪失、硬直性痙攣、間代性痙攣等の中樞神経障害、代謝性アシドーシス、2週
2-エトキシエタノール 間後の腎不全、3週間後の肝障害、神経衰弱様の症状が1年間継続等の記述
がある。—中樞神経系、腎臓、肝臓、精巣
- 全身毒性/反復暴露： 暴露された群で精子数の有意な減少、対象群と比べて平均の精子数が有意に
低く、精子減少症及び無精子症の割合が対象群より高くみられた。検査群の
10%が貧血、5%が顆粒球減少症等の記述がある。—精巣、造血系
- 変異原生： 現在知見なし
- 催奇形性-ホルミアミド： 経口—ラット TDLO:2 g/kg(妊娠7日) 着床後胎児死亡、胎児毒性
- 発がん性： OSHA, NTP, IARC にがん原生の記載なし。

12. 環境影響情報

- 移動性： 物理化学的性質からみて大気、水系、土壌環境に移動しうる。
- 残留性/分解性： 現在知見なし
- 生態蓄積性： 現在知見なし
- 生態毒性/魚毒性： 現在知見なし
- その他のデータ： log Po/w : -0.540(2-エトキシエタノール)

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物： 焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。少量の場合はおがくず、ウエス等に吸着させて開放
型の焼却炉で焼却する。これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄してから排出
する。
- 汚染容器及び包装： 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去したあとに処分する。
本製品は、産業廃棄物に該当する。処理を委託する場合は、廃棄物処理業の
免許を持った業者へ、産業廃棄物管理票を添えて依頼する。

14. 輸送上の注意

- 国連番号： 1171
- 国連分類： ペン適用外 (内容液 P.G. 3)
- 海洋汚染物質： 該当
- 注意事項： 運送に関しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いよう
積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

- 製品—
- 労働安全衛生法： 名称等を通知すべき有害物 (No.77 エチレングリコールモノエチルエーテル)
名称等を表示すべき有害物 ((3)-3 エチレングリコールモノエチルエーテル)
第2種有機溶剤(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号)
- 化審法： 旧第2種監視化学物質No.1029
- 化学物質排出把握管理促進法(P.R.T.R法)： 第1種指定化学物質 No.57
- 消防法： 第4類第2石油類(水溶性)危険等級3
- 毒物及び劇物取締法： 非該当
- 危険物船舶運送及び貯蔵規則： 引火性の物

16. その他の情報

引用文献等

- ① 化学工業日報社： 12000の化学商品、国際化学物質安全性カード(ICSC)
- ② 中央労働災害防止協会： 化学物質の危険・有害便覧労働省安全衛生部監修
- ③ 医歯薬出版： 産業中毒便覧
- ④ Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH (1985-1986)

* 記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。